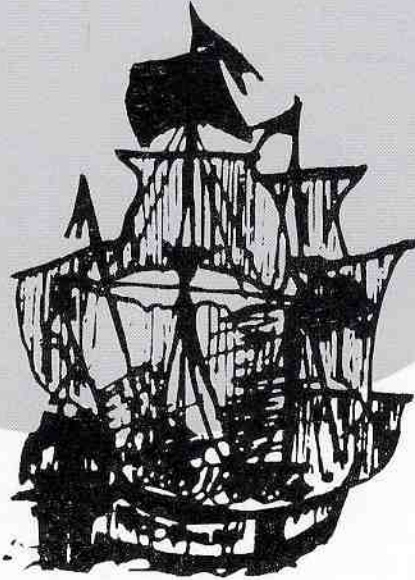


OSAKA MEN'S CHORUS

第30回リサイタル

取扱説明書/Operating Instruction



ごあいさつ

このたびはご来場、誠にありがとうございます。お聴きになる前に、必ず「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお聴きください。本書はお読みになった後も、大切に保管してください。



安全上のご注意

ご機嫌いかがですか



今日の演奏は凄いですよ。涙あり、笑いあり、ロマンあり、スリルあり。でもイライラしてたり、腹が立っていてもOMCを十分に堪能できません。どうか浮世のことはお忘れになって、心安らかに聴きください。

ここは芸術ホールですよ



この会場は以前「中ホール」と呼ばれてました。短縮して「ネンキンチュー」です。それが今では「ネンキンゲイ」、しっかりしませんね。それはそれとして大ホールではありませんのでお間違えなく。

ケータイの電源は切りましたか



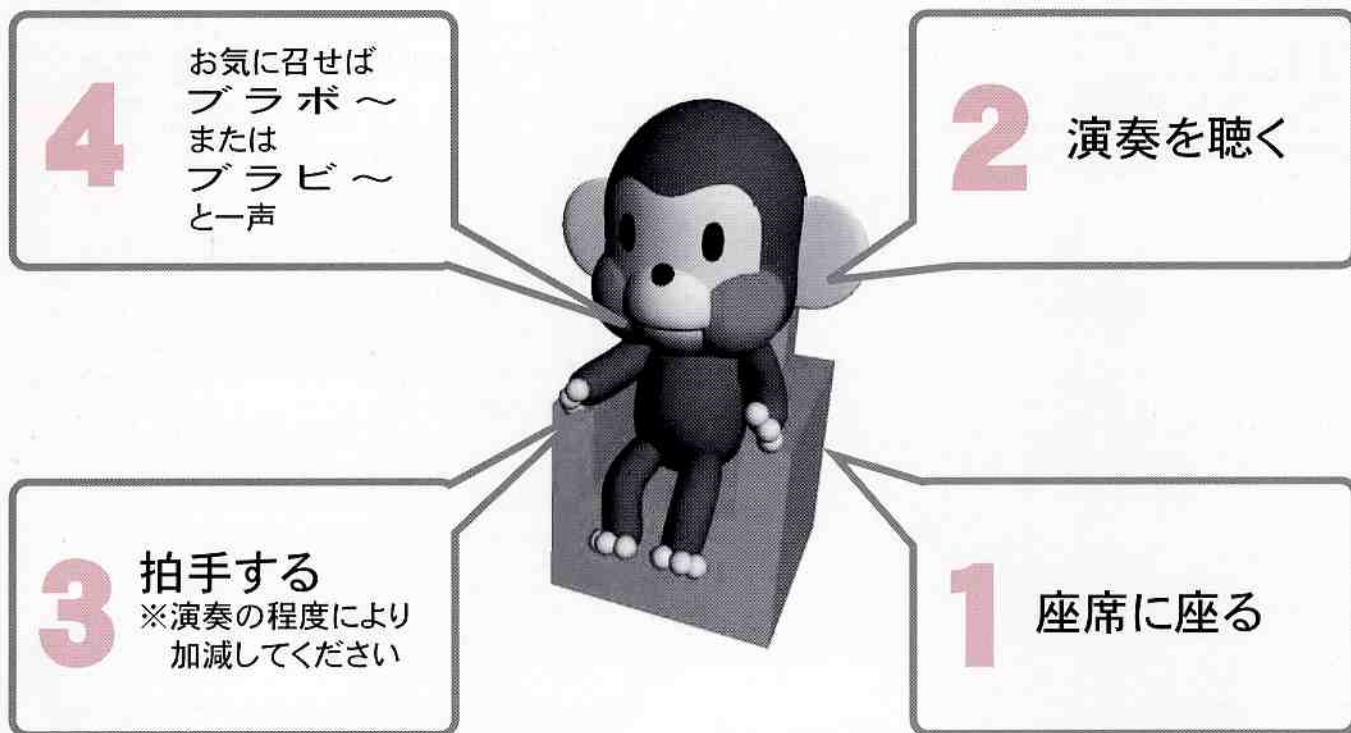
文明の利器とは上手に付合わないといけません。車内放送で繰り返し「ご理解ご協力を」と言っているにも関わらず、マナーの悪い輩のなんと多いことか!嗚呼、腹が立つ。。。あ、ご機嫌よくしてないとダメでしたね。

写真撮影や飲食はご法度でござる



男前ばかりの我々を撮りたくなる衝動は嬉しいのですが、音がしたり光が出たりしますのでご辛抱ください。また「日本には幕の内なる文化があるんだ。客席で弁当食ってやるぞ」と主張される方は梅田コマがお勧めです

上手な聴き方



演奏フロー

Sea Chanty

The Shaver
Shenandoah
A Roving
The Drummer And The Cook
指揮 石津佳彰
ギター JOSH大塚



Hugo Alfvén合唱曲集

Papillon(蝶)
Aftonen(夕べ)
Gryning vid havet(海の夜明け)
指揮 安井直人



15分ほど休憩です



三善晃編曲唱歌の四季

朧月夜
茶摘
紅葉
雪
夕焼小焼
指揮 安井直人
ピアノ 岡本佐紀子・野田芳枝



Robert Shaw合唱曲集

Starts Of The Summer Night
Seeing Nellie Home
Love's Old Sweet Song
Good Night Ladies
Gentle Lena Clare
Wait For The Wagon
Ring De Banjo
指揮 石津佳彰
バンジョー JOSH大塚

アフターサービスについては、下記までご相談ください

トップ

栗津重光	五十嵐強
倉本 洋	豊田千之
長友伸吾	中村文雄
藤川文義	法林昭二
村川真人	米岡 泰

バリトン

有田仁一	池田泰延
石津佳彰	岩間克昭
柏原正邦	加藤克雄
左手豊文	武田圭司
毎野正紘	松岡康生
宮内隆造	

セカンド

足立誠也	安藤邦昭
黒田 武	小立浩司
近藤 恭	斉藤 蔚
佐竹広吉	鈴木 真
安井直人	山下八郎

ベース

岩井 爽	宇野健一
尾崎公昭	鎌田昌彦
久保 毅	中西純三
藤川雄紀	堀 清
吉田真一	

ゲストのご紹介



◆提督 阪上和夫

大阪音楽大学声楽科卒。伊藤富次郎氏、故木下武久氏、G.モレッリ氏他に師事。「お蝶婦人」のピンカート、「リゴレット」のマントバ公爵等数多くのオペラに出演。大阪音楽大学教授。関西歌劇団理事。
 <OMC談>OMCでは団長を船長、団員を甲板員と呼んでいます。阪上先生には発声をはじめ、いろいろとご指導を頂いております。



◆ピアノ 岡本佐紀子

大阪音楽大学ピアノ科卒業。永井淳子氏に師事。オペラピアノ伴奏者、コレペティートルとしての研鑽を積み、関西歌劇団、大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス、'98年9月よりびわ湖ホールにて活躍中。1年間、文化庁在外研修員としてローマに留学。ローマ歌劇場首席コレペティートル、スティーヴン・ローチ氏に師事。また、カタルディ・タッソー二氏のアシスタントピアニストを勤めた。



◆ピアノ 野田芳枝

大阪音楽大学ピアノ科卒業。永井正高氏、永井淳子氏、原田敦子氏に師事。現在、ヤマハ音楽教室ジュニア科専門コース担当講師。グループ指導・ピアノ指導にあたるほか、伴奏者として活躍している。
 <OMC談>長年大変お世話になっています岡本先生のお姉さまでいらっしゃいます。



◆ギター/バンジョー JOSH 大塚

神戸大学軽音楽部初代部長。学外でのバンド(BLUEGRASS 45)を率いて、1971年と72年に渡米、三ヶ月のツアーの間数多くのブルーグラスフェスティバル、カントリーショー、ライブハウスでプロとして演奏。絶賛を浴びる。当地にて3枚のLPを発売する。1996年にもこのバンドで日米ツアーをしCDとビデオを制作。現在毎火曜日午後10時から90分、インターネットラジオ番組のパーソナリティを務める。

過去の製品

<p>第29回 2001 2/24(sat) 厚生年金芸術ホール The Beatles Collection 男声合唱組曲「方舟」 Sea Chanty</p>	<p>安井直人 本山秀毅 石津佳彰</p>	<p>第20回 1990 2/18(sun) 厚生年金中ホール ホレック「戦艦ビナワ」</p>	<p>松尾昌美</p>	<p>第10回 1978 12/10(sun) 厚生年金中ホール 海のガリエーション ホレック合唱曲集 ジャズ Sea Chanty</p>	<p>筒井彰 松尾昌美 筒井彰 筒井彰</p>
<p>第28回 2000 2/27(sun) 厚生年金芸術ホール 創立35周年記念委嘱ホレック 「動物物語」</p>	<p>森香織</p>	<p>第19回 1989 7/30(sun) 厚生年金中ホール 男声合唱組曲「ヴェニス誕生」 音楽の接点 Sea Chanty ハワイでっせ</p>	<p>松尾昌美 早野柳三郎 松尾昌美 松尾昌美</p>	<p>第9回 1977 12/4(sun) 厚生年金中ホール 組曲「航海詩集」 WESTERN SONGS Sea Chanty</p>	<p>筒井彰 林節 林節</p>
<p>第27回 1998 12/6(sun) 外大大阪北 Sea Chanty 男声合唱曲集「月下の一群2」 Negro Spiritual</p>	<p>石津佳彰 阪上和夫 石津佳彰</p>	<p>第18回 1988 11/20(sun) 厚生年金中ホール 男声合唱組曲「戦旅」 Sea Chanty あの歌この曲 OMC愛唱曲集</p>	<p>松尾昌美 松尾昌美 松尾昌美 松尾昌美</p>	<p>第8回 1976 12/5(sun) 厚生年金中ホール 同期の桜 組曲「蛙の歌」 Sea Chanty</p>	<p>林節 筒井彰 林節</p>
<p>第26回 1997 6/22(sun) 厚生年金中ホール Sea Chanty 日本の歌 ホレック合唱曲</p>	<p>石津佳彰 石津佳彰 阪上和夫</p>	<p>第17回 1988 2/7(sun) 厚生年金中ホール ホレック「アソ大将」</p>	<p>松尾昌美</p>	<p>第7回 1975 12/14(sun) フェスティバルホール ユル・ボーター名曲集 Sea Chanty 男声合唱のためのクワイム「碑」</p>	<p>林節 筒井彰 林節</p>
<p>第25回 1996 4/21(sun) 厚生年金中ホール Sea Chanty 「どいつのうたやねん」 男声合唱曲集「月下の一群」 ホレック合唱曲</p>	<p>松尾昌美 早野柳三郎 荒木洋行 松尾昌美</p>	<p>第16回 1986 10/3(fri) 厚生年金中ホール 男声合唱組曲「草野心平の歌から」 クワイムからクワイムまで Sea Chanty</p>	<p>松尾昌美 早野柳三郎 松尾昌美</p>	<p>第6回 1974 12/21(sun) 厚生年金中ホール Sea Chanty ハワイ民謡 日本の歌 アメリカスタンダード曲 美しく青きドナドナ</p>	<p>林節 林節 林節 筒井彰 林節</p>
<p>第24回 1995 4/29(sat) 厚生年金中ホール ホレック「ジェロルスタグ女大公殿下」</p>	<p>松尾昌美</p>	<p>第15回 1985 10/26(sat) ザ・シンフォニーホール Sea Chanty 男声合唱組曲「龍女の鐘」 アソ</p>	<p>松尾昌美 松尾昌美 松尾昌美</p>	<p>第5回 1973 12/2(sun) 厚生年金中ホール Sea Chanty 男声合唱組曲「秋のモロゲ」 男声合唱組曲「中勤助の詩から」 ハワイ民謡</p>	<p>林節 筒井彰 林節 林節</p>
<p>第23回 1994 5/21(sat) 札幌ホール カツオ集 男声合唱曲「夜の青空」 クワイムからクワイムまで</p>	<p>松尾昌美 松尾昌美 早野柳三郎</p>	<p>第14回 1984 2/5(sun) 厚生年金中ホール Sea Chanty 男声合唱組曲「流水の歌」 あの歌この曲</p>	<p>松尾昌美 松尾昌美 松尾昌美</p>	<p>第4回 1972 11/26(sun) 厚生年金中ホール Sea Chanty 男声合唱組曲「雨」 このごろの歌 in O.M.C. ゴット・フアザー・アラム</p>	<p>林節 筒井彰 林節 林節</p>
<p>第22回 1993 2/28(sun) 厚生年金中ホール Sea Chanty 男声合唱組曲「野分」 チャイコフスキー没後100年 ソビエト崩壊記念! 特別番組</p>	<p>松尾昌美 松尾昌美 早野柳三郎</p>	<p>第13回 1982 12/9(thu) 厚生年金中ホール たまにはマツで古典を歌うと 初ラになってクワイムのステージ 男声合唱組曲「うつむく青年」</p>	<p>松尾昌美 松尾昌美 松尾昌美</p>	<p>第3回 1971 12/12(sun) 厚生年金中ホール Sea Chanty 男声合唱組曲「叙情小歌」 男声合唱のためのクワイム「碑」 黒人霊歌</p>	<p>林節 筒井彰 林節 林節</p>
<p>第21回 1991 6/23(sun) 厚生年金中ホール Sea Chanty 「TV Theme Music」 男声合唱組曲「やさしい魚」 ホレック合唱曲</p>	<p>松尾昌美 早野柳三郎 松尾昌美 松尾昌美</p>	<p>第12回 1981 12/18(fri) 厚生年金中ホール Sea Chanty 歌い継がれた名品集 男声合唱組曲「龍女の鐘」</p>	<p>松尾昌美 松尾昌美 松尾昌美</p>	<p>第2回 1970 11/30(mon) 厚生年金中ホール 男声合唱組曲「人生ばんざい」 Sea Chanty パート・バカツクの華麗なる世界 なつかしい日本の歌</p>	<p>筒井彰 林節 林節 林節</p>
<p>第1回 1968 12/12(thu) 厚生年金中ホール Sea Chanty アメリカスタンダード曲 ハワイ民謡他</p>	<p>林節 林節 林節</p>	<p>第11回 1980 12/7(sun) 厚生年金中ホール 男声合唱組曲「水のいのち」 OMCシュトゥラスを歌う Sea Chanty</p>	<p>松尾昌美 松尾昌美 松尾昌美</p>	<p>第1回 1968 12/12(thu) 厚生年金中ホール Sea Chanty アメリカスタンダード曲 ハワイ民謡他</p>	<p>林節 林節 林節</p>

OMCのWeb掲示板から

<S.N.>結成37周年と、リサイタル30回との数字のずれは、どこにあるのかな、などと考えております。

<Y.I.>1965年1月25日処女航海。最初のリサイタルは1968年。その間、何度もリサイタルに向かって準備がなされたが、創立期にありがちなメンバーの固定がうまく行かず、ようやくリサイタルにこぎ着けた第1回目だった。そして、2回目は1970年。1回目が終わった後メンバーがいなくなり一時は8~10人の練習が1年以上続く事になり、本当に解散を考えたりしていました。1、2回のリサイタルはOMC単独ではおこなえず、いずれも賛助出演を依頼してのリサイタルでした。この時点ですでに4回分のズレがあります。しかし、この苦しかった荒波をくぐったあとはリサイタルに関しては順調に進んで来たと思います。ただ、定期演奏会の形式をとって

いないので1年に必ず1回ではなく準備が充分必要な時は期間に囚われずに開催してきました。私個人としては30回のリサイタルはあくまでも通過点ですが、これまでのことを振り返って見ると、よくもここまで来れたなあというのが実感です。この後も出来る限り順調にOMC号が航海出来るように、途中で戦争など起こらない事を祈ってやみません。今回のリサイタルでは初期の混乱期のため止むを得ず1回目、2回目に乗れなかったメンバーもいます。又、その当時一緒にトンネルをくぐり抜けたメンバーもいます。そういう人達と再び今回一緒にリサイタルできる事は感慨が一入です。現役の乗組員の方々、前回のリサイタルでは私に客席に呼びかけました。もう一度一緒に歌いましょうと。今回何人かの人達が帰って来ました。次はもっとも帰って来たいと思っています。勿論新しいメンバーの獲得は最重要課題ですが、事情で途中下船された元乗組員へも手を差し伸べて再乗船してもらおう努力をしたいと心に誓っているのでもあります。S.N.さんの書込みを讀んでつい、昔の苦しかった頃を思い出してしまいましたが、この先は真に平和な時代が続きますようにと皆さんにお願いします。



※敬称略



各部の解説

第1ステージ

The Shaver (新米の船乗り)

おれがまだ小さかった頃、船会社に入って海に出たんだ
大海原を渡って行ったんだ
でもみんなはおれを殴り倒すし、班長は頭をどつき回すし、
海が嫌になってたよ。まだ新米の頃だけど
ある日ものみやぐらに登った時、昇降口から入ろうとしたら、
班長にどなられたよ。「触るな、それは見張台の止め金だっ」ってね
そんな調子で、ホーン岬を回る頃には、もうぐったりとなっていて、
生まれてこなければ良かったと思ったね
とにかく無事に済んでほしいと思ったよ。まだ新米の頃だけど

Shenandoah

おお、シェナンドー、おまえの流れる音を聞きたい
逆巻く河よ
おお、シェナンドー、おまえの流れる音を聞きたい
広いミズーリを横切り、われわれはおまえから遠く離れていく
おお、シェナンドー、おまえの流れる姿がなつかしい
おまえを最後に見てから7年の長い月日がたった
おお、シェナンドー、おまえのもとを去ってはいない
おお、シェナンドー、おまえを忘れたりはいしない

A Roving (出来心)

アムステルダムに一人の女が住んでいたんだ
いいか、おれの言う事をしっかり覚えとけよ
彼女は誰かの囲われ者だったんだな
ちょっとした出来心でひどい目に会っちゃった
もうあの娘には二度と色目を使わない
おれはそのかわいこちゃんを散歩に誘ったんだ
そしてとっても楽しく話をしたんだ
彼女の腰に手を回したら、彼女が言うんだ
あなたってとてもあわてんぼうね
彼女を膝の上ののっけたら、彼女が言うんだ
あなたって本当に礼儀しらずね

The Drummer and the Cook (セールスマンと料理女)

しがないセールスマンが、ある家の料理女を好きになった
彼女の目は、やぶにらみだった
そのやぶにらみの度合いといったら、
片方の目はポットの中をのぞき込み、
もう一方は煙突を見上げるといった具合で、
まさに料理女としてびつたりの目をしていた
この二人がデートして、海岸を歩いていた時、
こんなやりとりをした
「とても好きだよ」「私も好きよ」
「今日はいい天気だね」「他に言う事ないの?」
「結婚指輪買ってもいいかい」「その言葉を待ってたの」
「いつ結婚しようか」「五月がいいわ」
(いよいよ結婚という事になり)
教会で誓いの言葉を述べる時、
彼は気が気じゃなかった
彼女が片方の目で牧師を誘惑し、
もう一方の目で寺男を悩殺していたから

OMC訳

第3ステージ

『唱歌の四季』は合唱の名曲を数多く作曲している三善見氏の手によって編曲されました。編曲といっても、よく聞いてみると単なる編曲ではないことがわかります。例えば「朧月夜」の冒頭のピアノは、土や水の匂いを運ぶ暖かな春風を感じさせ、眼を閉じると幼い頃の自分や故郷の風景が見えてきます。ここに登場する夕焼も鐘の音も蛙の声も、もうすっかり忘れてしまった自然の中での人間の暮らしや心を思い出させてくれます。それは甘ったい感傷や郷愁ではなく、三善氏の熱い願いや思いにほかならないのです。忙しく過ぎていく日々の中で生きる意味を見失いがちな私たちにとって、つかのま自分を取り戻せたことは新鮮な喜びでした。私たちもそれぞれの願いや思いを込めてこの曲を歌います。そして歌い終わったときに、私たちの心の中にも皆さんの心の中にも、夕焼の空や満天の星空が広がっていることを祈ってやみません。



よく読んでね

第2ステージ

ヒューゴ・アルヴェーン(1872~1960)はスウェーデンの作曲家で、創作の中心は多彩でロマンティックな管弦楽曲にあります。が、声楽曲、特に合唱曲の分野でもスウェーデン音楽に貴重な遺産を残しました。特に、名門ウプサラ大学に1835年に創設された男声合唱団「オルフェイ・ドレンガル」(オルフェオの息子達の意)に1910年に指揮者として就任してから38年の長きにわたってこの合唱団を指導する中で生み出された彼の合唱作品が注目されます。晩年はウプサラの北西にある「スウェーデンの心のふるさと」と呼ばれるレクサンドの町外れに家を構え、シリアン湖のまわりの町や村のアルヴェーンを慕う人々で組織されたシリアン合唱団を生涯指揮しました。アルヴェーンは、民謡音楽とは関係ないオリジナル作品、民謡音楽の特徴を持っている作曲、民謡の編曲の大別して三つの種類に分けられます。「蝶」はほとんど信じられないくらい、それこそ空気のように軽い音の性質を持っている男声合唱曲のための音楽的実践であり、対照的に「夕べ」「海の夜明け」は「声のオーケストラ」と呼ばれるようになった洗練された色彩感覚と響き、ドラマティックなスタイルを発展させています。

1. 蝶

蝶は陽の光の中で舞う
花の精のように軽やかに
自らの生命を楽しみ陶醉するために
羽は微かに輝きそして震える

春の使者のように蝶はやって来た
冬は長く堪え難いほど重たかった
春の陽の光がその羽に降り注ぐ
蝶よ 親愛なる太陽の子よ

つぼみが膨らみ花が咲き
やがてしおれて実を結ぶ
蝶は羽ばたき舞い続ける
昼も夜も絶えることなく

秋が来て もはや太陽の輝きはない
蝶の羽ばたきもままならなくなる
楽しかった夏の日々はほんのつかの間
蝶よ 死はおまえの近くにある

蝶はそれでも陽気に羽ばたく
しかし ふと不安と寒さを感じ
身を震わせ やがて死の口づけを受けて眠る
夕日の微かな光の中で

2. 夕べ

森は静まり 空は澄みわたっている
心に沁みる角笛の音がしじまの中に響く

そして 夕陽はゆっくりと
穏やかに澄んだ波の間に沈んでいく

あたりの谷間や緑の丘に
こだまが広がっていく 遠く果てしなく...

3. 海の夜明け

赤銅と鋼鉄の盾のような輝きが海を覆う
しかし海の底では強い流れが渦巻いている
不気味な静寂 まるで夜の暗い丘の地面の下に
生命そのものが潜んでいるようだ
やがて山々の上に夜明け光が訪れるのだろうか?
空は憤怒に染められた真っ赤な血の色だ
嵐がやって来る 海の嵐が
激しく奔り去り 打ちつけ 荒れ狂う嵐が
雄々しく 壮麗に そして力強く

OMC訳

第4ステージ

1965年1月、OMC誕生直後の第一声はStars of The Summer Nightを始めとするRobert Shawの愛唱曲集でした。しかし、これまでと違ってリサイタルで歌われたことが一度もありません。それから37年たった今日、30回目のリサイタルでようやくそれらは陽の目をみることになりました。

前回リサイタルからの履歴

2001年

2月	第29回リサイタル	厚生年金会館芸術ホール
4月	神戸復興記念コンサート出演	神戸国際ホール
6月	西山田小学校でのコンサート	吹田市
8月	高齢者福祉センターでのコンサート	兵庫県野田川町「虹ヶ丘」
8月	第37回OMC夏のバカンス	兵庫県網野町
10月	箕面市敬老会出演	箕面東小学校
11月	バックスフェスタ出演	いたみホール
11月	八尾市民音楽祭出演	プリズムホール

2002年

1月	第30回出帆式	旅館 富久屋
5月	第30回リサイタル	厚生年金会館芸術ホール

OMCメンバー募集相談室

ご愛顧いただいておりますOMCですが、「あんなに面白そうなら僕もやってみよう」という方のご参加をお待ちしています。下記練習拠点への訪問、または営業拠点までご連絡ください。

◎練習拠点

営業日時

毎週月曜日 18:30 ~ 20:45 および

毎月第4日曜日 9:30 ~ 16:30

場所

毎週月曜日は主に「梅田東生涯学習ルーム」

阪急梅田駅が最寄。ヤンマーディーゼルと百又ビルの中の小路を
入って20m程です。元小学校の校舎を利用した施設です。

毎月第4日曜日は主に西宮方面

※練習拠点はチョコチョコ移動する場合がありますので、確認してからお出でくださいませ。

◎営業拠点

担当営業 有田(統括本部長)

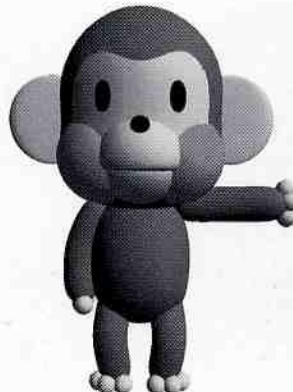
Tel 075-982-4096

E-mail jarita@galaxy.ocn.ne.jp

◎ご安心プライス

月会費3,000円ポッキリ

学生は1,000円ポッキリ



本日のご感想はBBSへ

<http://www1.ocn.ne.jp/~omc/>